

金沢大学 神経内科

年 報

第 13 号

2012 年 1 月～2012 年 12 月



金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 脳医科学専攻
脳病態医学講座 脳老化・神経病態学(神経内科学)

<http://neurology.w3.kanazawa-u.ac.jp>

目 次

年報第13号の刊行にあたって	1
[1] 出来事・人事異動	3
[2] 診 療	13
[3] 症例検討会・各種カンファレンス	19
[4] 教育活動	28
[5] 業 績	34
(1) 論文・著書	34
(2) 学会・研究会等	45
(3) その他の対外活動（委員会、取材など）	66
(4) 学会、研究会等の主催	68
[6] 研究助成	70
[7] 専門医	72
[8] 褒 賞	72
[9] 特 許	72
[10] 関連病院の施設紹介・留学だより	73
[11] 大学在籍者名簿	81
編集後記	83

年報第13号の刊行にあたって

2012年（平成24年）の教室の記録を年報第13号としてまとめました。教室の診療、教育、研究活動に際し、学内、関連施設、国内外から多くのご支援、ご指導をいただきました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

2012年は、2011年3月の東日本大震災が落とす影の中で、『復興』と『脱原発』をキーワードにして迎えた1年でした。

2012年8月、韓国の李明博大統領が竹島に、香港の活動家らが尖閣諸島に上陸し、領有権を巡る隣国との摩擦が一気に顕在化しました。日本政府は9月に尖閣諸島を国有化、その後、中国各地では反日デモが相次ぎ、日系デパートなどに対する破壊行為が公然と行われました。

また、夏にはロンドン・オリンピックが開催され、日本は史上最多のメダルを獲得しました。

10月、山中伸弥・京大教授がiPS細胞の研究でノーベル医学生理学賞を受賞することが決まりました。

12月、師走の衆議院選挙となり、新党が乱立、結局、自民党が圧勝し、民主党は惨敗、第2次安倍内閣が発足しました。民主党政権から3年ぶりに自公連立政権に戻りました。

もう1つ、5月22日、ちょうど日本神経学会学術大会が東京で開催されている時に、東京スカイツリーが開業し、オープン前から大勢の人が行列をつくりました。夏、隅田川を臨む浅草の料理屋さんで会食をする機会がありましたが、向島に立つスカイツリーの姿が川にうかぶ屋形船などに妙にマッチして風景になじんで見えました。スカイツリーも、きっとそのうちに、私達にとっておなじみの東京タワーのような存在になっていくのでしょうか。

2012年は金沢大学医学部が創立150周年の節目を迎えた年でありましたが、当教室は開設30周年を迎えました。5月には教室開設30周年記念誌を発刊させていただきました。改めて高守正治名誉教授を始めとする教室創成期の方々に感謝いたしますと共に、当教室の発展を多方面からご支援、ご指導くださった学内外の関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

この年報にありますように、2012年、当教室ではさまざまな出来事があり、いくつかのプロジェクトが進行しました。その中の1つを取り上げますと、私達が能登半島の七尾市中島町で行っている認知症早期発見・予防のための地域基盤型研究(通称『なかじまプロジェクト』)がいよいよ佳境に入ってきました。このプロジェクトは、文部科学省の地域結集型研究事業/知的クラスター創成事業等の支援を受けて、認知症の早期発見と予防を目標に、2001年から計画し準備活動を行い、2006年から『もの忘れ健診』を開始し、現在に至っております。こうした研究では、地域住民の参加率により調査結果にバイアスがかかります。数年間に渡り、公民館や集会所で行う通常の脳健診のデータと、戸別訪問による健診(悉皆調査)のデータを比較した結果、通常の脳健診方式ではどのようなバイアスがかかるのかが明らかになり、地域における認知機能低下・認知症の実態がほぼ判明しました。中島町は現在の高齢化率が35%で、わが国の20年後の姿を示すモデルです。『なかじまプロジェクト』は、私達神経内科グループばかりでなく、公衆衛生、リハビリ、PET、MEG他の学内外の多数の研究施設や専門家グループとの共同研究として、地元自治体や医師会等のご支援のもとに、中島町の皆さんと一体になって実施されています(写真)。このプロジェクトを通じて、認知症早期発見・予測システムを確立し、認知症、特にアルツハイマー病が発症予防できることを示し、今世紀半ばに迎える高齢化率40%を超える超高齢化社会に貢献したいと思います。

この年報第13号を皆様方に御高覧いただき、今後も一層の御指導を賜わりますことができたら誠に幸いに存じます。

2013年2月

山田正仁



(写真) 中島町鉦打地区慰労会(2013年1月)。平成24年度に同地区で行われた悉皆調査にご協力いただいた地元の皆さんと、中島名物のカキ料理などをいただきながら歓談しました。

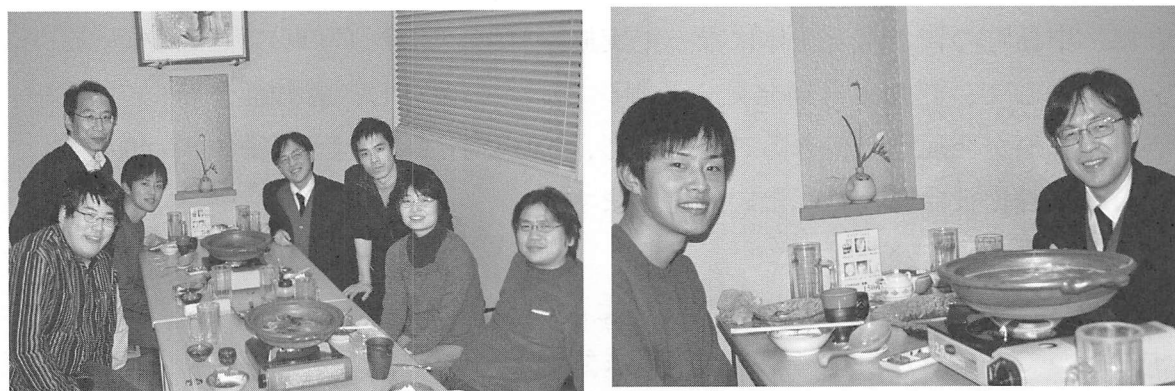
[1] 出来事・人事異動

(1) 2012年医局の出来事

2012年1月16日～17日 平成23年度プリオン班合同研究報告会



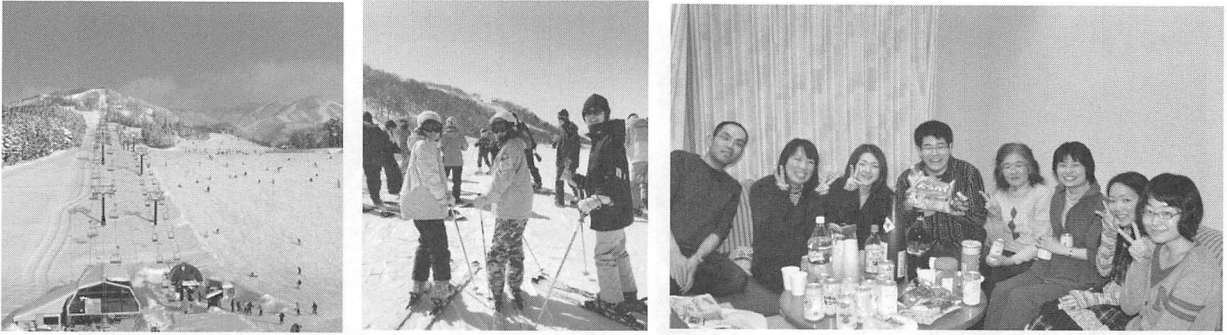
2012年1月24日 研修医（古谷 直生 先生）歓迎会



2012年1月27日 平成24年度なかじまキックオフミーティング
豊川地区悉皆調査慰労会



2012年2月18日-19日 医局スキーツアー（スキージャム勝山、福井）



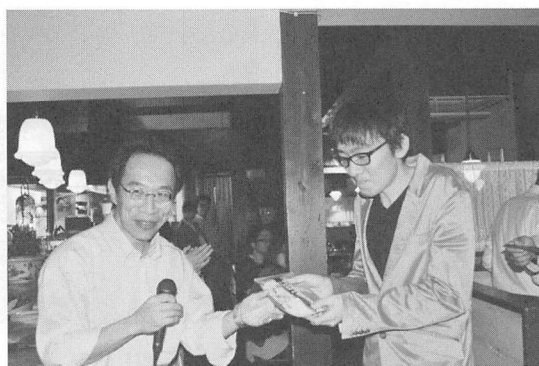
2012年3月13日 医局送別会（昇竜、金沢）



2012年3月18日 市民公開講座 in なかじま「認知症の診断と治療・予防」を開催（能登演劇堂、中島町）（68 ページ参照）
主催：当教室／（財）北陸産業活性化センター



2012年4月24日 新人歓迎会（オステリア・デル・カンパーニュ、金沢）

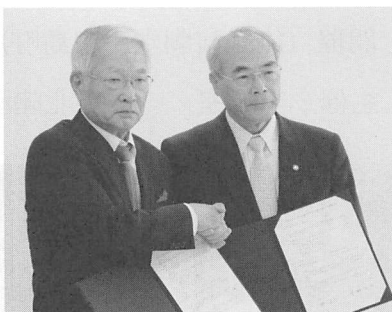


2012年4月26日 第22回ニューロサイエンスセミナー

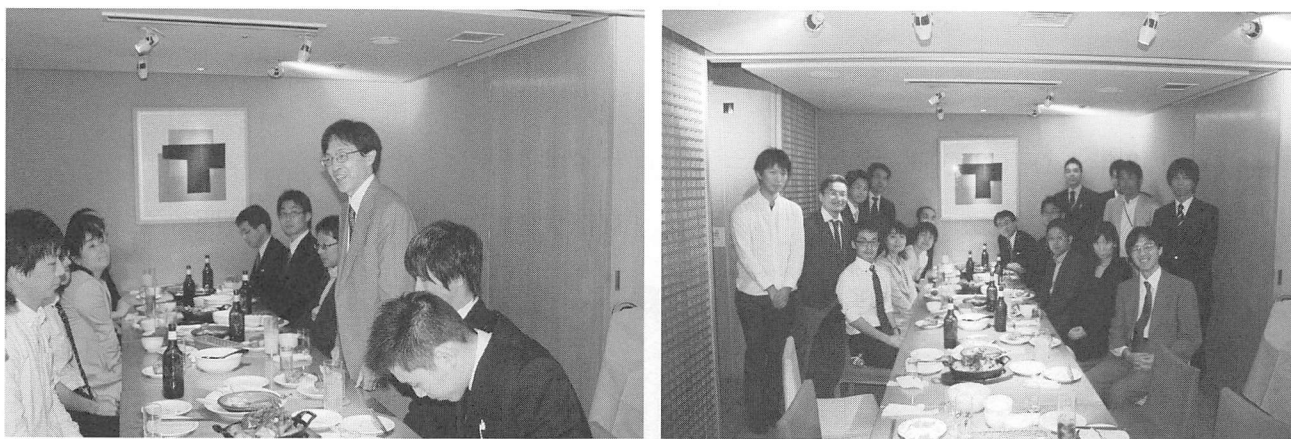
杉本 八郎 先生（同志社大学 客員教授）（27 ページ参照）



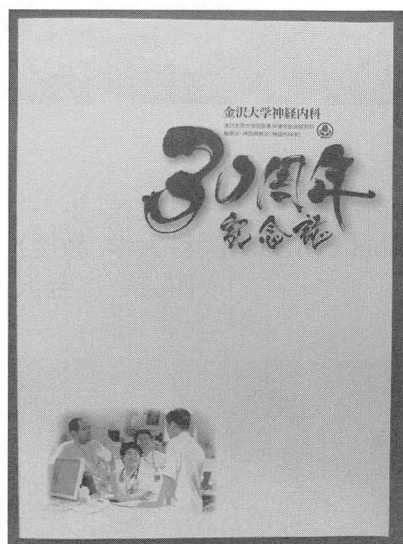
2012年5月23日 金沢大学と七尾市の包括連携協定締結式



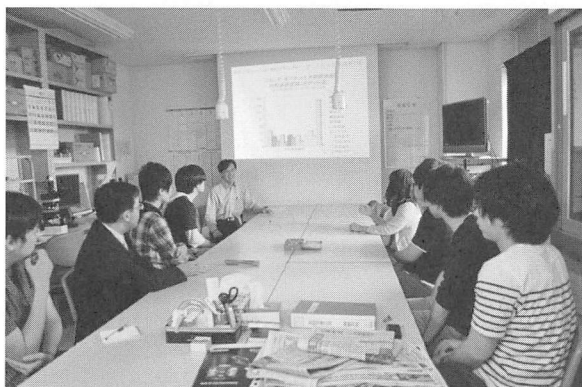
2012年5月23日 金沢大学神経内科同門会（ローストチキンハウス、東京）



2012年5月28日 金沢大学神経内科30周年記念誌 発刊



2012年6月23日 金沢大学神経内科医局説明会（ヴァンベール、金沢）



2012年9月1日 第8回神経内科アカデミーを開催
(32～33 ページ参照)

2012年10月30日 第23回ニューロサイエンスセミナー
垣塚 彰 先生 (京都大学 教授) (27 ページ参照)

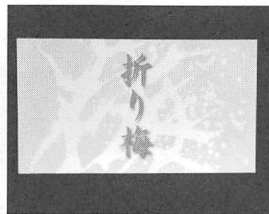


2012年11月7日 Giulio Maria Pasinetti 先生 (Mount Sinai 医科大学 教授) 来学
(四分一、金沢)

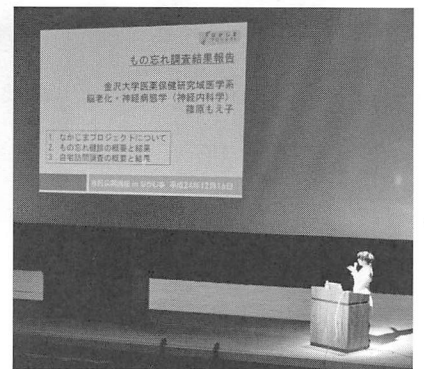


2012年12月15日 金沢大学神経内科同門会・学術集会/総会 (ホテル金沢、金沢)
(10～12 ページ参照)

2012年12月16日 市民公開講座 in なかじま「認知症の早期発見と予防」を
 開催（能登演劇堂、中島町）（69 ページ参照）
 主催：当教室／（財）北陸産業活性化センター



映画「折り梅」上映



2012年12月18日 医局忘年会（タブリエ、金沢）





< 2012年6月 医局集合写真 >

(2) 大学人事異動

2012年4月

< 転入 >

中 村 桂 子：福井県立病院より医員・大学院博士課程へ

柴 田 修太郎：黒部市民病院前期研修医より医員（後期研修医）へ

< 転出 >

能 登 大 介：金沢大学より石川県立中央病院へ

(3) 2012年 金沢大学神経内科同門会学術集会／総会

日 時：12月15日（土）

場 所：ホテル金沢

＜学術集会＞

I 症例検討会

座長 佐村木 美 晴

- 1) 「認知機能低下と両下肢筋力低下を呈し、画像検査で頭部白質病変と長大な脊髄病変と認めた1例」

金沢大学 赤 木 明 生

- 2) 「右上肢の筋萎縮、感覚障害を呈し、右腕神経叢にFDG集積を認めた1例」

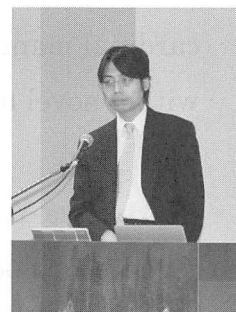
石川県立中央病院 能 登 大 介

- 3) 「今年の思い込みと見逃しの症例」

福井県立病院 町 谷 知 彦

- 4) 「ADEM様脳病変を認めた1例」

富山市民病院 森 永 章 義



II 30周年記念講演

座長 岩 佐 和 夫

「神経筋シナプスの構造・機能と免疫-退官後13年のあゆみ」

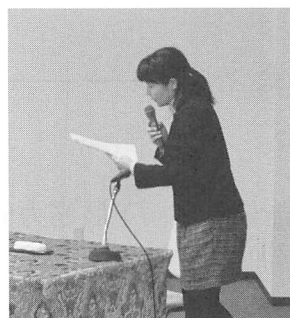
同門会会長 高 守 正 治 名誉教授

Ⅲ 大学院修了・学位研究報告会

座長 篠原 もえ子

「早期アルツハイマー病における後部帯状回萎縮と代謝低下」

福井県立病院 島 啓 介



Ⅳ 表 彰

高 守 正 治 同門会会長

1) 第6回 金沢大学神経内科同門会奨励賞

厚生連高岡病院 古 川 裕

- Furukawa Y, *et al.* Neuromyelitis optica after Japanese encephalitis vaccination. *Eur J Neurol* 18:E26-27, 2011
- Furukawa Y, *et al.* Cervical pachymeningeal hypertrophy as the initial and cardinal manifestation of mucopolysaccharidosis type I in monozygotic twins with a novel mutation in the α -L-iduronidase gene. *J Neurol Sci* 302:121-125, 2011
- Furukawa Y, *et al.* Fisher syndrome associated with immune thrombocytopenic purpura. *Intern Med* 50:631-633, 2011

Southampton 大学 坂 井 健 二

- Sakai K, *et al.* Cervical flexion myelopathy in a patient showing apparent long tract signs: a severe form of Hirayama disease. *Joint Bone Spine* 78:316-318, 2011
- Sakai K, *et al.* Early-stage progressive supranuclear palsy with degenerative lesions confined to the subthalamic nucleus and substantia nigra. *Neuropathology* 31:77-81, 2011
- Sakai K, *et al.* Acute disseminated encephalomyelitis with medial temporal lesions mimicking acute limbic encephalitis. *Clin Neurol Neurosurg* 113:72-74, 2011



<金沢大学神経内科同門会集合写真 (2012年12月15日)>

[2] 診 療

(1) 外来実績

外来診療は、初診医と再診医をわけて行っています。今年度の初診患者数は前年とほぼ同様ですが、再診患者数は2011年度に比べ110.7%増え、7761人となっています。

外来担当医師の数は2011年と変わらないため、医師一人一人の再診患者数が増加しているものと思われます。再診患者数の増加は、患者さん一人一人に時間をかけて専門的な外来診療を行う妨げになる可能性もあるため、治療方針が決定し、病状の落ち着いた症例については、地域の開業医や市中病院へ紹介し、地域連携医療を進めていくことも必要と考えます。

当科の外来は完全予約制となっており、来年度も継続予定のため、他院からご紹介いただく先生方には引き続きお手数をおかけしますが、何卒ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご多忙の中、大学病院の外来診療をお手伝い頂いた小竹先生、高橋先生、外来事務の蔵谷さん、泉さんには、この場を借りて深謝いたします。

(外来医長 篠原 もえ子)

表 外来患者数 (2012 年)

月	医 事 課 集 計*				神 経 内 科 集 計			
	患者数 合計 (人)	再診	初診	入 院 中 他科受診	初 診			
		患者数 (人)	患者数 (人)	患者数 (人)	初診患者数 (人)	院内紹介 (人)	院外紹介 (人)	紹介状なし (人)
1	565	526	21	18	48	26	19	3
2	756	687	26	43	67	42	23	2
3	688	626	24	38	54	31	22	2
4	700	646	25	29	59	37	19	3
5	647	594	21	32	58	40	17	1
6	712	655	26	31	63	35	27	1
7	750	678	20	52	67	50	17	2
8	689	631	24	34	60	41	18	1
9	749	673	28	48	69	42	26	1
10	760	706	23	31	60	37	23	0
11	722	660	32	30	62	36	27	1
12	756	679	23	54	64	43	20	1
合計 (前年比%)	8494 (116.1)	7761 (110.7)	293 (95.1)	440 (108.9)	731 (95.9)	460 (98.2)	258 (97.0)	18 (64.2)

* 医事課集計は入院中の他科依頼患者を除く

2012 年度 外来担当医

曜 日	月	火	水	木	金
初 診	岩佐 濱口	篠原	篠原 小竹	小野	高橋 ^和 佐村木
再 診	山田* 岩佐 小野	篠原	濱口 吉川*	山田* 岩佐 佐村木	
もの忘れ外来 (初診) (午後)	濱口 (第1週)			山田/小野 佐村木/篠原	

* 紹介患者初診含む

(2) 病棟

神経内科病棟は東2階にあり、病床数は20床です。今年(2012年1月～12月)の退院患者の総のべ人数は177例でした。今年については、ほとんどの月で病床可動率が100%を超えてしまい、病棟主治医の先生方にとってはハードな1年でした。どうしても担当の入院患者が増えると診療の効率が落ちてしまい、その結果在院日数が長くなってしまふという悪循環が続いており、来年はその辺りを改善していきたいと考えています。また、看護師、ソーシャルワーカーとも引き続き協力しながら、在院日数を減らしていく方向で努力を続けていくつもりです。

入院症例の内訳は以下に示すとおりで、例年通り変性疾患が多くを占めています。筋疾患や末梢神経障害など、診断に電気生理学的検査や病理学的検査といった少し手間のかかる検査を要することがある疾患が変性疾患に続いており、大学病院の役割は果たせているのではないかと考えています。

火曜日のカンファレンスについては、昨年に引き続き時間の短縮という課題が解決出来ずにいます。診断や治療方針の決定が難しい症例も多く、仕方がない面もありますが、その点も何か解決策を見つけなければと考えています。ただ、病棟主治医は毎日相当な無理をして火曜日のカンファレンスの準備をしており、出来るだけその負担を増やさなような改善策がないか頭を痛めているところです。

最後になりましたが、病棟運営には医師や看護師以外にもソーシャルワーカー、病棟事務、医局事務および技師、臨床心理士等の方々の多大なご助力で成り立っているものであり、ご協力いただいたことに深く感謝するとともに、今後も円滑な運営にご協力をお願いしたいと思います。また、今年もかなり無理な転院の依頼も快く受け入れて下さった関連施設の先生方に心よりお礼申し上げます。

(病棟医長 濱口 毅)

<疾患内訳>	(例数)
血管障害	16
脳梗塞	14
脳血管炎	1
海綿状血管腫	1
感染症・炎症性疾患	16
髄膜脳炎	5
肥厚性硬膜炎	4
脊髄炎	1
Creutzfeldt-Jakob 病	6
変性疾患	43
筋萎縮性側索硬化症	10
脊髄小脳変性症	5
痙性対麻痺	2
Parkinson 病	3
進行性核上性麻痺	5
大脳皮質基底核変性症	2
多系統萎縮症	8
パーキンソニズム	5
下位運動ニューロン疾患	1
Machado-Joseph 病	1
Huntington 病	1
筋疾患	20
筋ジストロフィー	4
封入体筋炎	3
重症筋無力症	13

末梢神経障害	30	
家族性アミロイドポリニューロパチー	10	
抗 MAG 抗体陽性ニューロパチー	6	
慢性炎症性脱髄性多発神経根炎	2	
Lewis-Sumner 病	1	
POEMS 症候群	2	
その他の末梢神経障害	9	
脱髄性疾患	10	
多発性硬化症	7	
視神経脊髄炎（抗 AQP 抗体陽性）	3	
てんかん	7	
内科・全身性疾患に伴う神経疾患	4	
傍腫瘍性症候群	1	
甲状腺眼症	2	
神経 Sweet 病	1	
腫瘍	2	
転移性脳腫瘍	1	
悪性リンパ腫	1	
その他	29	
精神疾患	3	
不随意運動	3	
脊椎関連疾患	3	
抗 NMDAR 抗体陽性脳症	1	
PRES	2	
ミトコンドリア異常症	2	
手根管症候群	1	

意識障害	2
ウイルス感染症	1
複視	2
首さがり	1
白質病変	2
四肢筋力低下	1
歩行障害	1
痙攣性構音障害	1
門脈-体循環シャント	1
破傷風	1
辺縁系脳炎	1
計	177 例

[3] 症例検討会・各種カンファレンス

(1) 症例検討会

日付	年齢	性別	題名	疾患名 (疑い例を含む)	主治医
1/10	59	M	ヘリコバクター・ピロリ感染状態、抗リン脂質抗体症候群陽性の脳塞栓症の1例	Cerebral embolism	池田、佐村木
1/17	47	F	大量飲酒歴のあるMSA-Cを疑った1例	Multiple system atrophy	高橋、濱口
1/24	72	F	末梢神経障害との鑑別を要した両側手根管症候群、胸腰部脊柱管狭窄症の1例	Carpal tunnel syndrome	小松、岩佐
1/31	65	F	GNE 遺伝子変異を持ち、筋病理にて肉芽腫性変化、縁取り空胞を伴った遠位型ミオパチーの1例	Distal myopathy with rimmed vacuole	能登、濱口
2/7	22	F	てんかん重積の治療に難渋している脳炎疑いの1例	Anti-NMDA receptor encephalitis	池田、佐村木
2/14	61	M	前頭葉副鼻腔腫瘍の手術放射線治療後に遷延性意識障害を呈した1例	Radiation induced encephalopathy	小松、岩佐
2/21	25	M	けいれん発作で発症し、両側大脳皮質、皮質下白質に多発病変を認めた1例	Posterior reversible encephalopathy syndrome	能登、濱口
2/28	58	M	ACTH 単独欠損症の経過中に四肢の不随意運動、左上下肢の筋力低下、筋萎縮を認めた1例	Lower motor neuron syndrome	高橋、濱口
3/6	54	F	Castleman 病の経過観察中に発症した POEMS 症候群の1例	POEMS syndrome	小松、岩佐
3/13	59	F	意識消失発作を繰り返した1例	Neurolymphomatosis	赤木、小野
3/27	72	M	infliximab の副作用と思われる脱髄性末梢神経障害を来した1例	Infliximab induced polyneuropathy	能登、濱口
4/2	73	F	幻視、妄想の治療に難渋しているパーキンソン病の1例	Parkinson's disease	池田、佐村木

日付	年齢	性別	題名	疾患名 (疑い例を含む)	主治医
4/10	73	F	白質病変と長大な脊髄病変を呈した1例	Leukoencephalitis	赤木、佐村木
4/17	60	F	失調で発症し、前頭葉皮質のDWI高信号域を呈した孤発性CJD疑いの1例	Creutzfeldt-Jakob disease	中村、濱口
4/24	68	F	大脳皮質基底核変性症の1例	Corticobasal degeneration	林、小松、小野
5/1	75	F	強皮症があり頭部画像検査で脳虚血病変を呈した1例	Cerebral angitis	坂下、赤木、佐村木
5/8	61	M	基礎にリンパ形質細胞性リンパ腫があり、亜急性に四肢麻痺が進行した1例	Myelopathy and polyneuropathy	中村、濱口
5/15	34	M	IVIgを3度施行し症状の進行が抑えられているが、今後の治療につき悩んでいるLewis-Sumner症候群の1例	Lewis-Sumner syndrome	柴田、濱口
5/29	74	M	潜在性二分脊椎に進行性四肢筋力低下、球症状、呼吸不全を合併した1例	Motor neuron disease	中村、濱口
6/5	25	M	再発性視神経炎の経過中に髄膜炎を呈した1例	Recurrent optic neuritis and meningoencephalitis	林、小松、小野
6/12	65	F	20年以上持続する左肩の不随意運動に小脳症状、認知機能低下を合併した1例	Myoclonus of upper limb and cerebellar ataxia	柴田、濱口
6/19	77	M	口唇周囲のしびれで発症したシェーグレン症候群が疑われた1例	Trigeminal neuropathy	坂下、赤木、佐村木
6/26	59	M	失語症状で発症した再発性脳症の1例	Neuro-Sweet disease	柴田、濱口
7/3	57	F	甲状腺全摘後に甲状腺線眼症を来した1例	Dysthyroid ophthalmopathy	小松、小野
7/10	31	F	SLEの経過中に髄膜炎を発症した1例	Meningitis	赤木、佐村木
7/17	60	M	緩徐進行性の瘻性歩行に上肢筋力低下、筋萎縮を合併した1例	Cervical spondylosis	藤井、中村、濱口

日付	年齢	性別	題名	疾患名 (疑い例を含む)	主治医
9/4	65	M	亜急性進行性の認知症、失調を呈した髄膜脳炎の1例	Chronic meningoencephalitis	小松、小野
9/11	76	F	緩徐進行性の失調症状を呈した1例	Cerebellar ataxia	柴田、瀨口
9/18	49	M	慢性の不随意運動の経過中に失調症状が出現した1例	Spinocerebellar ataxia	赤木、佐村木
9/25	54	F	再発を繰り返し多発白質病変を認めた脳脊髄炎の1例	Neuromyelitis optica	小松、小野
10/2	58	F	リンパ球組成異常を伴ったseronegative MGの1例	Myasthenia gravis	山口、池田 ^芳 、岩佐
10/9	45	M	家族性にパーキンソニズムを呈した1例	Parkinsonism	柴田、佐村木
10/16	64	F	約3年の経過で進行した自律神経障害の乏しいパーキンソニズムの1例	Parkinsonism	中村、小野
10/23	75	M	約3年の経過で進行したパーキンソニズムと運動失調に、軽度の自律神経障害を合併した1例	Parkinsonism	佐野、赤木、瀨口
10/30	64	F	後弓反張の遷延している破傷風の1例	Tetanus	神川、小松、瀨口
11/6	54	F	小脳失調、自律神経障害の経過中に肝細胞癌を合併した1例	Cerebellar ataxia	中村、小野
11/13	58	M	シャント脳症により発症したと思われる運動症状が遷延した1例	Portosystemic shunt	山口、池田、岩佐
11/20	46	F	幼少時より難聴を認め、成人後に右上肢ジストニアが出現した1例	Focal dystonia	赤木、瀨口
11/27	72	F	無治療で13年間再発を認めなかったNMOの1例	Neuromyelitis optica	小松、瀨口
12/4	43	M	非進行性の四肢筋力低下に高CK血症を伴った1例	Myopathy	中村、小野
12/11	64	M	嚥下障害を呈した皮膚筋炎の1例	Dermatomyositis	柴田、佐村木
12/18	59	M	リツキサンの治療を要した抗MAG抗体関連末梢神経障害の1例	MAG associated polyneuropathy	小松、瀨口

日付	年齢	性別	題名	疾患名 (疑い例を含む)	主治医
12/25	31	M	SLE の経過中に細菌性髄膜炎様の髄液所見を呈した全長にわたる脊髄炎の1例	Myelitis	山口、池田、岩佐

(2) CPC(金沢大学/医王病院)

日付	年齢	性別	臨床診断	臨床担当医	病理診断	病理担当医
2/7	63	M	MSA, Liver cirrhosis	駒井 (医王)	MSA	石田 (医王)
2/7	65	F	ALS	古川 (医王)	ALS	赤木
4/17	85	M	PSP	古川 (厚生連高岡)	PSP	石田 (医王)
4/17	59	F	Myotonic dystrophy	田上 (医王)	Myotonic dystrophy	赤木
6/12	73	M	ALS	駒井 (医王)	ALS	赤木
6/12	60	M	Huntington's disease	池田 ^篤 (医王)	Huntington's disease	中村
8/28	58	M	ALS	駒井 (医王)	ALS	中村
8/28	77	M	ALS	佐村木, 石田 (医王)	ALS	赤木
11/13	62	F	Neuromyelitis optica	高橋 ^和 (医王)	Neuromyelitis optica	石田 (医王)
11/13	83	M	PSP	池田 ^篤 (医王)	Lewy body disease	石田 (医王)

(3) 生 検

疾患内訳（臨床診断（疑い病名含む））

筋	慢性ミオパチー（神経原性変化も伴う）	2
	炎症性ミオパチー（多発筋炎・皮膚筋炎・封入体筋炎含む）	12
	ミオパチー性変化	4
	慢性筋原性変化	2
	軽度のミオパチー性変化および筋上膜の炎症性変化	1
	筋ジストロフィー	1
	FSHD s/o	1
	合計	23例
神 経 ・ 脳	脱髄性ニューロパチー	2
	脱髄性、軸索変性が混在するニューロパチー	2
	慢性神経原性変化	2
	筋原性変化を伴った慢性神経原性変化	4
	軸索障害性ニューロパチー	2
	慢性脳脊髄炎	1
	ポリニューロパチー	3
	血管炎	3
	全身性アミロイドーシス	1
		合計

所属内訳

所 属	検体数
金沢大学附属病院 神経内科	14
〃 他科	5
石川県立中央病院 神経内科	7
厚生連高岡病院 神経内科	7
金沢医療センター 神経内科	6
福井県立病院 神経内科	3
富山市民病院 神経内科	1
計	43

(4) 生検カンファレンス

日付	臨床診断	所属	担当医
2/28	遺伝性運動感覚性ニューロパチーの疑い	当科	能登、濱口
3/27	高CK血症	厚生連高岡病院	安川
4/17	封入体筋炎	石川県立中央病院	松本
5/15	ミオパチーの疑い 筋炎疑い	福井県立病院 厚生連高岡病院	中村 白崎
5/21	四肢筋力低下	福井県立病院	町谷
6/5	首下がり	金沢医療センター	坂尻
6/12	多発筋炎	福井県立病院	島
	Churg-Strauss syndrome	金沢医療センター	新田
6/22	首下がり	金沢医療センター	坂尻
7/3	顔面肩甲上腕型筋ジストロフィーの疑い	当科	中村、濱口
7/10	POEMS 症候群の疑い	当科	小松、岩佐
7/24	FAP の疑い 皮膚筋炎の疑い	当科 厚生連高岡病院	小松、小野 古川
7/26	多発筋炎疑い 多発筋炎疑い	石川県立中央病院 石川県立中央病院	山口 山口
8/7	皮膚筋炎	当院リウマチ内科 2	松永
9/11	ミオパチー 筋ジストロフィー	当院腎臓内科 1 金沢医療センター	佐藤 坂尻
9/25	皮膚筋炎の疑い 筋ジストロフィーの疑い 顔面肩甲上腕型ジストロフィー 多発筋炎の疑い	当院リウマチ内科 2 当科 当科 厚生連高岡病院	水島 赤木、佐村木 赤木、佐村木 柳瀬
10/2	多発筋炎の疑い	石川県立中央病院	能登
10/30	多発筋炎の疑い	厚生連高岡病院	柳瀬
11/5	アレルギー性肉芽腫性血管炎疑い	当院腎臓内科 1	大島
11/13	多発筋炎の疑い	厚生連高岡病院	柳瀬
12/11	化骨性筋炎の疑い	富山市民病院	森永
12/25	多発筋炎疑い	石川県立中央病院	山口

(5) 臨床神経セミナー

月1回、主に第3月曜日17時30分から神経内科、脳神経外科、神経精神科の3科合同で、症例検討会を行っています。2012年に神経内科から提示した症例を表に示します。

日付	年齢	性別	題名	主治医
1/23	59	M	抗リン脂質抗体陽性と高ホモシステイン血症があり、多発脳梗塞と認知症をきたした1例	池田、佐村木
3/19	61	M	前頭葉副鼻腔腫瘍に対する手術放射線治療後に遷延性意識障害を呈した1例	小松、岩佐
4/16	22	F	抗NMDA陽性脳炎の1例	池田、佐村木
5/21	62	F	白質病変と長大な脊髄病変を呈した1例	赤木、佐村木
6/18	73	F	妄想のコントロールが困難なパーキンソン病の1例	池田、岩佐
7/23	59	M	失語症状で発症した再発性脳症の1例	柴田、濱口
9/24	40	M	HIV感染下に、自然軽快と増悪を示す多相性脳病変を認めた脳炎の1例	中村、濱口
10/15	62	F	白質病変と長大な脊髄病変を呈した1例（第二報：生検結果も含めて）	赤木、佐村木
11/19	45	M	家族性にパーキンソニズムを呈した1例	柴田、佐村木
12/17	38	M	シャント脳症により発症したと思われる運動症状が遷延した1例	山口、池田、岩佐

(6) もの忘れ外来検討会

月に1回、外来主治医、各検査担当医、心理士、なかじまプロジェクト関係者が集まり、もの忘れ外来受診患者を中心に、病歴、神経学的所見、検査所見を元に、診断、治療方針の検討を行っています。当外来初診患者総数は2012年末までで1081名となりました。932名の検査後診断の内訳は409名（46%）が Alzheimer 病、180名（20%）が軽度認知障害、155名（17%）が正常範囲ほかでした。

月（2012年）	検討症例数
1月	11例
2月	10例
3月	5例
4月	6例
5月	7例
6月	10例
7月	7例
9月	11例
10月	5例
11月	11例
12月	5例

(7) 大学院生研究発表会

日付	演者	題名
1/24	堂本千晶	タッチパネル式簡易認知症スクリーニング検査のアルツハイマー病、軽度認知障害鑑別における有用性
2/7	池田芳久	MEG 研究の進捗状況
11/27	小林星太 (北陸大学薬学部 大学院博士後期課程)	ニコチン性アセチルコリン受容体 $\alpha 3$ サブユニットに対する抗体による受容体の細胞内局在及び機能変化
12/4	高橋良一	Phenol 化合物による α -synuclein, tau の凝集抑制効果の検討
12/11	堂本千晶	Visuomotor coordination has resources for useful parameter of characterized in Mild cognitive impairment and Alzheimer's disease.
12/18	池田芳久	脳磁図(MEG)によるアルツハイマー病の早期診断

(8) ニューロサイエンスセミナー

- 第22回ニューロサイエンスセミナー：平成24年4月26日
杉本 八郎：同志社大学 客員教授
「アルツハイマー病の根本治療薬開発の可能性を探る」
- 第23回ニューロサイエンスセミナー：平成24年10月30日
垣塚 彰：京都大学大学院生命科学研究科・高次生体統御学分野 教授
「神経変性疾患における VCP 蛋白質の役割」

[4] 教育活動

(1) 神経系疾患系統講義

●医薬保健学域医学類4年生、医学部医学科4年生

日付	項目	題名	講義担当者
4/13	総論	Neurology 入門 (1)	山田正仁
4/20	〃	Neurology 入門 (2)	山田正仁
4/27	〃	検査 (神経生理、髄液)	岩佐和夫
5/11	〃	検査 (病理)	佐村木美晴
5/18	各論	変性疾患 (錐体外路系疾患・認知症疾患)	山田正仁
5/25	〃	変性疾患 (運動ニューロン疾患・脊髄小脳変性症)	小野賢二郎
6/1	〃	神経系感染症、脱髄	小野賢二郎
6/8	〃	神経筋接合部、筋疾患	吉川弘明
6/15	〃	末梢神経、自律神経	岩佐和夫
6/21	〃	脳血管障害の診断と治療 (1)	篠原もえ子
6/22	〃	脳血管障害の診断と治療 (2)	濱口 毅
6/29	〃	発作性、機能性疾患	吉田光宏*
7/6	〃	神経系の代謝性・中毒性・腫瘍性疾患、内科疾患に伴う神経障害	岩佐和夫
10/31	特別講義	神経変性疾患に共通する発症機序の解明を目指して	垣塚 彰**
11/16	〃	シナプスの構造、機能と免疫	高守正治***

*国立病院機構北陸病院神経内科診療部長/認知症疾患医療センター長・本学非常勤講師

**京都大学教授・本学非常勤講師

***本学名誉教授・本学非常勤講師

(2) 基本的臨床手技実習

●医薬保健学域医学類4年生、医学部医学科4年生

2012年春・秋学期 総授業数 4回×5ターム＝計 20回

担当者：岩佐和夫、小野賢二郎、濱口 毅、篠原もえ子、佐村木美晴

(3) 臨床講義

- 医薬保健学域医学類4年生、医学部医学科4年生（2012年度）
（2012年9月～2012年11月の9回）

日付	年齢	性別	題名	疾患名	講義担当者
9/14	52	M	左半身が動かない	急性散在性脳脊髄炎	山田正仁
9/21	67	F	歩みくる不自由	大脳皮質基底核変性症	小野賢二郎
9/28	59	M	手足がビリビリしびれて歩きにくい	抗MAG抗体陽性ポリニューロパチー	山田正仁
10/5	33	M	腕があがらない・・・	顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー	山田正仁
10/12	80	M	左不全麻痺・・・	脳梗塞	山田正仁
10/19	56	F	Case: Joggle & Dysmnesia	Creutzfeldt-Jakob病	岩佐和夫
10/26	52	M	1リットルの涙	Machado-Joseph病	岩佐和夫
11/9	60	M	全身に広がりゆく不都合	家族性アミロイドポリニューロパチー	山田正仁
11/30	62	M	まぶたが・・・	重症筋無力症	岩佐和夫

(4) 臨床実習 (BSL)

●医学部医学科5年生

学期	開始日	終了日	グループ数	学生総数
2011年度冬学期	1月4日	3月16日	3	18
2012年度春学期	4月9日	7月13日	7	43
2012年度秋学期	10月3日	12月4日	6	30

BSL スケジュール (月曜スタート)

曜日	午前	午後
月	9:00 ガイダンス	
火	8:00 クリニカルカンファレンス、病棟教授回診	講義
水	金沢医療センター見学	
木	8:00 病棟グループ回診、外来ポリクリ (岩佐)	
金	8:00 病棟グループ回診、10:00 医王病院見学	学生 CC
月	8:00 病棟グループ回診、外来ポリクリ (山田)	
火	8:00 クリニカルカンファレンス、病棟教授回診	教授面接

BSL スケジュール (木曜スタート)

曜日	午前	午後
木	9:00 ガイダンス	
金	8:00 病棟グループ回診、10:00 医王病院見学	
月	8:00 病棟グループ回診、外来ポリクリ (山田)	
火	8:00 クリニカルカンファレンス、病棟教授回診	講義
水	金沢医療センター見学	
木	8:00 病棟グループ回診、外来ポリクリ (岩佐)	
金	8:00 病棟グループ回診	学生 CC、教授面接

教育活動は、4年生、5年生、6年生に対して行っています。

4年生には、系統講義で神経内科の基本を講義し、診断学実習では神経所見の取り方を教え、臨床講義、チュートリアルで診断・治療までの考え方の訓練・指導を行っております。本年度も秋学期に全ての臨床講義を行い、学生は系統講義試験とも重なり大変そうでしたが初めて経験する臨床講義に興味を持って取り組んでいました。

5年生は臨床実習を行っています。実習内容はほぼ昨年度を踏襲しています。今年度も金沢医療センターと医王病院での学外実習にて急性期病院と神経難病を主に診療する病院での診療を見学することができ印象深かったようです。学外実習で御指導を賜りました新田先生、坂尻先生、駒井先生、石田先生、高橋先生には、この場をお借りし深謝いたします。

6年生の一部は、診療参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ）に参加しました。本年は5人の学生が参加し、主治医と同じ立場で入院患者を入院から退院まで担当し、さらに深く神経内科での診療について学んでいました。また、神経学会総会にも参加し、刺激を受けていました。

（教育係 佐村木 美晴）

(5) 大学院医薬保健学総合研究科医科学専攻（修士課程）講義

石田千穂：病理病態学：神経系。（2012年7月20日）

山田正仁：病理病態学：神経系。（2012年7月27日）

(6) 金沢大学医薬保健学域 薬学類「薬物治療検討会」

山田正仁：アルツハイマー病。（2012年11月14日）

岩佐和夫：パーキンソン病。（2012年11月15日）

(7) 第8回金沢神経内科アカデミー

当教室では、神経内科の魅力を医学部学生ならびに研修医に知ってもらうために、2005年より神経内科臨床および基礎研究に実際にふれてもらう機会として、金沢神経内科アカデミーを実施しています。2012年は、夏休みにもかかわらず3名の参加者を迎え有意義な臨床や研究の実習が行われました。

プログラム

9月1日(土)

- 9:45 参加者医局集合：オリエンテーション
- 10:00 病棟実習：主治医グループに参加し、患者診察や処置の見学
カンファレンスに参加
- 11:00 神経筋生検
- 12:30 ～ Lunch time ～
- 13:30 中枢神経 MRI 画像の読み方
講師 赤木 明生 先生
小松 潤史 先生
- 15:00 認知機能検査概要・見学
- 16:00 講演(1)「ドイツからの留学報告」 講師 濱口 毅 助教
講演(2)「神経内科のキャリアパス」 講師 山田 正仁 教授
- 17:00 写真撮影、終了
- 17:30 親睦会

9月2日(日)

- 9:00 医局集合：各研究実習の概要説明・実習(コース選択)
研究実習
- A) 神経病理 担当：石田、赤木、中村
- B) 脳画像解析 担当：佐村木、小松
- C) 神経化学 担当：小野、池田^篤、高橋^良
- 12:00 ～ Lunch time ～
- 13:00 研究実習続き
- 15:00 終了

<参加者>

防衛医科大学校 4年 高城大治
金沢大学 4年 中川麻貴子
東北大学 6年 山内悠平

